

映画を通した「いのちの授業」を。



映画に登場いただいたお一人、池本さんは高校の先生をされ、校長先生まで務められた方です。

映画スタッフが撮影の許可をいただきにあがった際、「私で役に立つのであれば」と快諾いただきました。

池本先生は映画の完成を見ることなく旅立って行かれました。映画に出演いただいたホスピス医細井順先生は、「この映画は池本さんから託されたもの」とおっしゃられています。池本さんに託されたメッセージ、「受けつがれる『いのち』」について、若い世代の方々へ広く伝えていければと願っています。

～推薦のお言葉～

「私は今まで、こんなに心の底から感動したドキュメンタリー作品は見たことがありません。普通に考えれば、死は当人にとっても、愛する家族や友人にとっても、最も悲しい場面であるはずですが、その死こそが『いのちがいちばん輝く日』なのだ、この映画は伝えています。」

◆全国の小学校で「いのちの授業」を続ける日野原重明さま（聖路加国際病院理事長）

—朝日新聞be 2013年3月30日掲載（抜粋）—



～高校生の映画感想文から～

- 生きる意味を再度考えさせられた。人のために生きたいと思う。
- ぼくのおばあちゃんもがんで亡くなりました。最後の病院のベッドで「自分を大切にしーや」と言ってくれました。その言葉の後、おばあちゃんは亡くなりましたが、僕はその姿を見れていません。朝起きるとおばあちゃんのいない世界になっていました。本当に辛かったです。もっと生きているときにありがとうを伝えたら良かったです。
- 自分が生きている今というものは、当たり前ではないということを改めて考えさせられた。
- 人に気持ちを伝えることの大切さを学んだ。
- いつ消えるか分からない自分の人生を必死で生きようと思った。
- 人生の終焉について、また自分について深く考えさせられた。

【学校での上映会について】

- ◎ 上映料は50名まで3万円、100名まで5万円
以降は追加お一人500円（いずれも税別）
が基本ですが、ご相談に応じます。
- ◎ 精算は上映会終了後で結構です
- ◎ DVD、ブルーレイをご用意しています
- ◎ バリアフリー版（音声ガイド、字幕テロップ入り）・
英語版もご用意しています
- ◎ 上映会と併せ、関係者による講演も可能です

★詳しくは上映委員会までお問い合わせください。
「いのちがいちばん輝く日」上映委員会（藤原）

<http://www.inochi-hospice.com/>

TEL/FAX: 072-396-0729 E-mail: jyo-ei@dinghies.jp
〒573-1134 大阪府枚方市養父丘1-11-9



「いのちがいちばん輝く日～あるホスピス病棟の40日～」

2012年／日本／HD／カラー／16:9／95分 監督：溝渕雅幸 出演：細井順 ナレーター：みるき

制作・著作・配給：「いのちがいちばん輝く日」上映委員会